

- 孔あけ・切欠き・切断・溝掘りなどのパネルの加工により、パネル強度の低下やひび割れ発生などの支障がでる場合があります。
- 施工現場でのパネル加工については、計画時に加工の位置や大きさなどについて十分な検討を行い、パネルの割付けなどを考慮してください。
- 下記に示す「加工範囲の目安」を遵守してご計画ください。
- 加工範囲内であってもパネル内部の補強鉄筋を切断することは極力避けてください。加工範囲をこえる場合は、強度検討が必要です。

加工範囲の目安

■ 孔あけ・切欠き ▶ 図 21 ▶ 図 22

- ① 孔あけは、パネルの外周からの縁空きを確保してください。
- ② パネル取付部周辺の孔あけや切欠き加工は避けてください。

図 21 パネル支点間距離内の加工

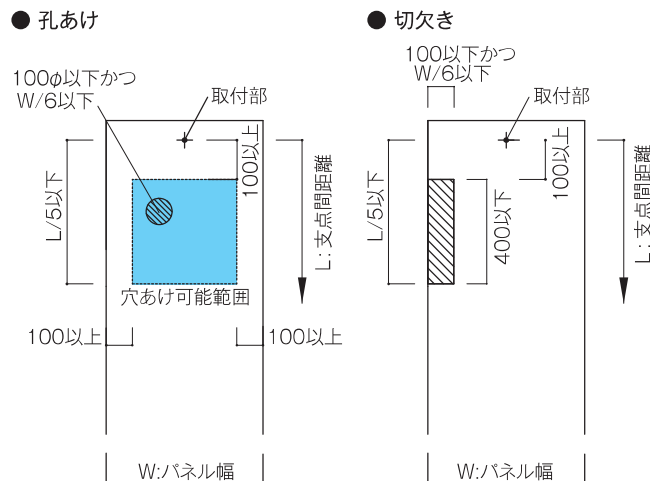
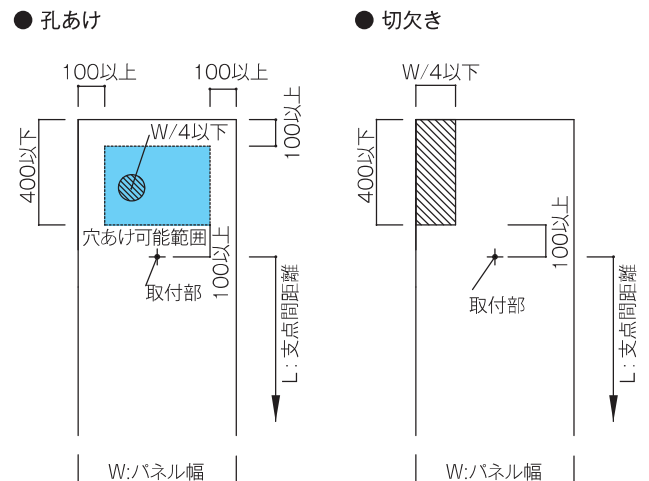


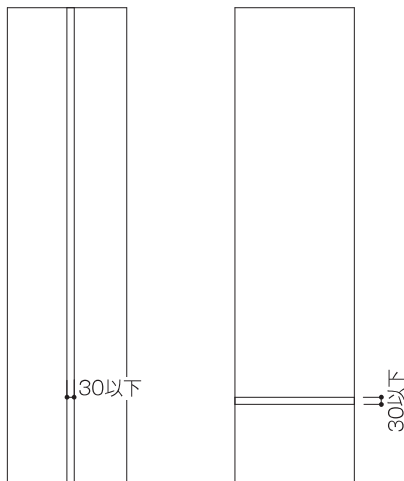
図 22 パネル支点間距離外の加工



■ 溝掘り ▶ 図 23

パネル 1 枚につき 1 本
かつ幅 30 mm 以下、深さ 10 mm 以下

図 23 溝掘り加工の範囲



■ 加工範囲をこえる場合の補強例 ▶ 図 24

加工範囲をこえる場合は、鋼材による補強も検討ください。

図 24 加工範囲をこえる場合の補強例

